

# パーキンソン病について医療関係者が 知っておくべきこと

日時：2021年6月30日（水） 19：00～20：15

場所：萃香園ホテル『鶴の間』 ※WEB同時配信

ねしげ

演者：医学博士 音成龍司 先生

音成神経内科・内科クリニック院長

久留米大学医学部臨床教授

**講演内容**：パーキンソン病は、頭部 MRI・CT は正常であるため、体の動きの不調の訴えが加齢によるものとみなされることが多いです。この度の講演により、患者さんに接することの多い医療・福祉関係者の方々に早期パーキンソン病についてより理解していただければ、患者さんの早期診断、および早期治療につながります。さらに、治療を開始して数年間のハネムーン期後にみられるジスキネジア、ウェアリングオフなど不可解な症状の特徴と、その対処方法を動画も含め分かりやすく解説します。

## 演者紹介

1989～ 山口大学医学部卒業、佐賀医科大学内科入局

米国グリーンブラッドクリニック神経内科フェロー

1998～ 音成神経内科・内科クリニック開業（福岡県久留米市）

徳島大学内科臨床教授（2009～2012）

久留米大学医学部臨床教授（2016～現在）

活動：Top 100 Health Professionals（2013 IBC）受賞

日本神経学会などの専門医

日本神経学会ガイドライン作成委員などを歴任

パーキンソン病についての講演と相談会（H2年より、谷脇考恭氏との共同代表）

全国パーキンソン病友の会福岡県支部顧問

講演：パーキンソン病などについて医療関係者や市民向け講演会も多数

著作：よくわかる脳波判読（金原出版）、笑顔の認知症（のぶ工房）、DVD「笑顔のパーキンソンラジオ体操」



\*日本医師会生涯教育講座 1 単位（13「医療と介護および福祉の連携」、19「身体機能の低下」）が取得できます

\*ご参加及びご視聴方法は、裏面をご確認ください

共催：久留米大学、久留米医師会、一般財団法人やさしい街、武田薬品

# 「パーキンソン病について医療関係者が知っておくべきこと」 事前申し込み用紙

配信システムの都合上、事前登録が必要となります。

**6月21日（月）迄**に①か②のいずれかの方法にて

**ご施設名・お名前・メールアドレス**を

お知らせいただきますよう、お願い申し上げます。



※会場の定員は**28名**でございます。（回答先着順）  
会場予約結果はメールにてお知らせさせていただきます。

①本用紙のFAX送付

②二次元コードからのフォーム入力

**FAX番号：093-551-6480**

医療機関名（ ）

職種	氏名	メールアドレス	形式
			会場・自己視聴 いずれかに○
			会場・自己視聴 いずれかに○
			会場・自己視聴 いずれかに○
			会場・自己視聴 いずれかに○

## ◆医療関係者以外の参加はご遠慮いただいております。

医療関係者の定義：

- ①医師、歯科医師、薬剤師、看護師、保健師(医療機関所属の有無は問わない)
- ②医療機関に所属する日本製薬工業協会コード・オブ・プラクティスが定める医療関係者（※）
- ③医療、介護、福祉分野の行政担当者

※助産師、歯科衛生士、歯科技工士、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師、衛生検査技師、視能訓練士、臨床工学技士、義肢装具士、救急救命士、管理栄養士、介護福祉士、介護支援専門員(ケアマネジャー)等

お問い合わせ先：  
武田薬品工業 藤川 未来  
miku.fujikawa@takeda.com